

特別活動研究会 会報4号

令和5年度 会員数145名!

KAWASAKI 特活



学級活動 (1) (2) (3) 児童会活動 クラブ活動 学校行事

川崎市立小学校 特別活動研究会

検索

例年よりも熱い(暑い)夏! 特活の夏!!

令和5年度 川崎市立小学校特別活動研究会夏季研修会
令和5年8月2日 川崎市教育会館にて

講演名 「子供のよさや可能性を生かす学級経営と特別活動」

講師 東松山市教育委員会 教育長職務代理者

城西国際大学 兼任講師

日本女子体育大学 非常勤講師 稲垣 孝章 氏

★子供主体の授業をめざして

- ・手段を目的にすると、「教師主体」の授業になる。
- ・目的を達成するための手段の工夫が、「子供主体」の授業になる。
- ・集団活動を通して目の前の一人の子供を育てることを重視して、全員を幸せにすることは無理でも、最後まで諦めない指導を。誰一人取り残されない、どの子も必要とされる「学級生活づくり」を。

★学級目標について

- ・学級目標は「実現目標」であり、個人目標は「達成目標」である。

<学級目標設定のポイント>

- ①「知育・徳育・体育」の視点で設定する。
- ②教育は、一人一人の子供「個」を育てる。「～の子」と表記する。
- ③保護者の願い・児童の思い・教師の思い をもりこんで、教師が設定する。

★学級活動(1)の実践上の課題とその対応策

- ①提案理由のキーワード化による混乱 提案理由を具体化・明確化
- ②議題は「設定」ではなく「選定」
- ③話し合いが焦点化されない司会者のランダムな指名→質問、付け足し、改善などの関連発言を導く。
- ④取り上げられなかった意見の扱いについて明確にする。

★学級活動(2)(3)個人目標設定のポイント

- ・具体性・再考・過程・「前の自分のよりがんばった」の基準を追加し、修正、改善・調整を行っていく。自分の実態把握を行い、より具体的なめあてを立てる。

参加者数 64名! たくさんのご参加ありがとうございました!
これからも、本研究会では、みなさんのためになる活動を企画していきます!

